

6. 伊勢のまちづくりやイベントを振りかえると、20年毎のご遷宮の時期と重ねて進められたことが多いことに驚かされます。次の博覧会はいつのご遷宮の時期と重ねて進められましたか。回答群の記号で答えなさい。

回答群 (イ) 第58回ご遷宮：昭和4年 (ロ) 第59回ご遷宮：昭和28年
(ハ) 第60回ご遷宮：昭和48年 (ニ) 第61回ご遷宮：平成5年

(81) お伊勢博覧会

(82) 世界祝祭博覧会（まつり博・三重）

7. 伊勢名産の農産物に関する次の文には、それぞれ一つずつ間違いがあります。その記号を指摘しなさい。

(83) 蓮台寺柿

- (イ) 柿の名前は明治2年（1869年）廃寺となった蓮台寺に因んでいる。
(ロ) 柿は脱渋が必要で、炭酸ガスにより1日で処理され、市場に出まわる。
(ハ) 昭和33年、国の天然記念物に指定されている。
(ニ) 原種に近いので、多角形で不揃いな形であるが、果肉は緻密でやわらかい。

(84) 朝熊小菜

- (イ) 朝熊山麓を産地とするアブラナ的一种である。
(ロ) 380年ほど前、奥州三春の元城主秋田城之助が朝熊に隠れ住んだとき、奥州からもたらされたという言い伝えがある。
(ハ) 早春に播種して、5月から6月に収穫する。
(ニ) 漬物は、小菜をきれいに洗い、塩で揉んで漬けこみ、翌朝水が上がったら重石を減らし、その夕方にはできあがる。

8. 伝統工芸に関する次の質問に記号で答えなさい。

(85) 伊勢での根付は、朝熊黄楊を用いて、干支や七福神を彫ったものが有名ですが、初期の名人として知られる彫刻師はだれですか。

(イ) 春慶 (ロ) 荒木田久老 (ハ) 鈴木正直 (ニ) 磯部百鱗

(86) 伊勢の昔からのみやげ物「獅子頭」の主な部分の製法は次のどれですか。

- (イ) 木材をろくろにかける
- (ロ) 木屑を糊で練り固める
- (ハ) 木製の部品を核に其の他の部品を組む
- (ニ) 木材を削る

9. 次に述べる景観や食べ物はいずれもこの地域のものです。それぞれ回答群の中から正しいと思われるものを選んで、記号で答えなさい。

(87) 木造家屋の外観の様子

- (イ) ひなたやけ (ロ) かんこ (ハ) きざみがこい (ニ) しゅんけい

(88) こし餡を柔らかな餅で包み、きな粉をまぶした餅

- (イ) へんば餅 (ロ) 二軒茶屋餅 (ハ) こどら (ニ) さわ餅

(89) 冬至にはかぼちゃを食べる習慣があり、これに因んで内宮参拝者に対し行われるふるまい

- (イ) せち (ロ) こどら (ハ) いとこ煮 (ニ) ぜんざい

(90) 寛政年間に生姜糖を作り始めたと言われるお店

- (イ) 岩戸屋 (ロ) 山形屋 (ハ) 二光堂 (ニ) 湊屋

10. 次の伊勢の方言は回答のどれにあたるか記号で答えなさい。

(91) おぼたい

- (イ) 食品の状態 (ロ) 時間の経過
- (ハ) 数量・計量の状態 (ニ) 人間の動作

(92) はいど

- (イ) 道具 (ロ) おもちや (ハ) 勝手口 (ニ) かまど

11. 江戸期を迎え、平和がやってくると、参宮が民衆にも広まり、全国各地から参宮街道、もしくは伊勢街道の名で呼ばれるいくつかのルートが伊勢をめざしました。そして、分岐地点には、茶屋、旅籠などの旅客業が栄えました。この地点に関する次の設問に、記号で答えなさい。

(93) 東海道と伊勢街道の分岐点はどこですか。

- (イ) 桑名 (ロ) 日永 (ハ) 伊勢神戸 (ニ) 津

(94) 伊勢街道と伊勢表街道（初瀬街道）との分岐点はどこですか。

- (イ) 高茶屋 (ロ) 久居 (ハ) 六軒 (ニ) 松阪

12. 宮川と宮川用水に関する次の文の（ ）に該当する正しい用語、地名を選んで、記号で答えなさい。

この地の大部分は、宮川の育んだ平地であるが、宮川の河床が周辺の土地に比べて
(95) ため、豊かな水を農業に利用することができずにきた。この課題の解決に取り組んだのが昭和 32 年に着工した宮川用水事業であった。宮川中流の (96) で取水し、斎宮池へ導水したのち、合計約 270km に及ぶ水路が張り巡らされ、これにより、約 4,500ha に及ぶ水田と約 1,000ha の畑地に灌漑されることとなった。

(95) (イ) 高い (ロ) 低い (ハ) 荒い (ニ) 細かい

(96) (イ) 栃原 (ロ) 相鹿瀬 (ハ) 栗生 (ニ) 三瀬谷

13. 宇治地区にある次の施設の説明に一つずつ間違いがあります。それを選んで、記号で答えなさい。

(97) おかげ座

- (イ) 昔の芝居小屋の外観をした横丁最大の建物である。
- (ロ) 歴史館、テーマ館の二つで構成されている。
- (ハ) 歴史館はからくり映像のシアターで、江戸時代の伊勢参りの様子がわかる。
- (ニ) 伊勢音頭や伊勢歌舞伎など古市にスポットをあて、賑わった古市の町の様子が等身大に表現されている。

(98) 小坡美術館

- (イ) 伊藤小坡は猿田彦神社の宮司宇治土公家に生まれた。
- (ロ) 磯部百鱗や京都の森川曾文等に師事した。
- (ハ) 日本の女性像を描きつづけた。
- (ニ) 美術館は猿田彦神社の境内にある。

14. 山田にある次の施設の説明にはそれぞれ一つずつ間違いがあります。それを記号で答えなさい。

(99) 小西万金丹

- (イ) かつては万病に効くお伊勢さんの霊薬として、代表的なみやげ物であった。
- (ロ) 由緒書によると堺の小西家に伝わる秘伝を譲り受け 17 世紀後半に八日市場で創めた。
- (ハ) 今も八日市場町の店で製造・販売を行っている。
- (ニ) 建物は伊勢独特の切妻造りで、まちかど博物館でもある。

(100) 伊勢和紙館

- (イ) 経営は大豊和紙工業が行っており、その敷地内にある。
- (ロ) 大豊和紙工業は、神宮はもとより全国の神社のお札に用いる和紙を製造している。
- (ハ) その広い敷地は、江戸期の御師山田大路邸の跡地である。
- (ニ) 和紙館は、まちかど博物館に登録されており、原料の楮、三桠や各種の和紙、和紙製品が展示されている。